



ミラノサローネ国際家具見本市: Workplace3.0 併催イベント

A Joyful Sense at Work

進化するワークスペース:

プロダクト・デザインから人類学的観点からのデザインまで

オフィスで働く人たちのニーズや感情、経験をもとに、オフィス設計の理論を再構築すべく、新しい息吹を吹き込むことが、“A Joyful Sense at Work”展の趣旨です。この興味深い展示のキュレーションを手掛けたのは建築家のクリスティーナ・クトローナ。

職場というのは、物事や人間関係に意味を持たせ、新しい価値を生み、感動や喜びを与えるものでなくてはならない、という理由から「A Joyful Sense at Work」が生まれました。オフィスをデザインするための人為的かつ人類学観点からのアプローチ (antropodesign: アントロポデザイン) は、現代のニーズに応えることを意味します。

テクノロジーと家具は、人々のニーズに敏感に答えながら変化します。テクノロジーはモバイル化し、空間はより流動的に、家具やパーテーションなどの固定家具も会議室なども消え、空間と人々の関係の変化に伴い、より人々に優しい空間へと振り返ろうとしています。

約 1,600 m²を占有するイベント会場では、この新しいワークスペースのコンセプトを、4つに分けた「広場」で表現します:

「集中エリア」個々に作業ができるプライベートスペース。

「共有エリア」コラボレーション、交流、共有を目的としたオープンスペース。

「クリエイティブ・エリア」想像力を発揮する発明、イノベーションのためのスペース。

「フィルター・スペース (ポロウス・ファブリック)」プライベートとパブリックが混在し、出会い、意見交換ができるスペース。

国際的に著名な 4 つの建築スタジオが、それぞれ異なる国や地域から選ばれ、「インスタレーションの中のインスタレーション」を手掛けるために招集されました。未来のオフィスのビジョンを提案するだけでなく、それぞれの国の文化的特性も反映させます。

インスタレーションは 4 つの全く異なるワークスペースの解釈で構成されます。

Primo Orpilla & Verda Alexander/Studio O+A (アメリカ)

Arash Ahmadi (イラン)

Ben van Berkel/UNStudio and Jeff Povlo/SCAPE (オランダ)

Alfonso Femia & Gianluca Peluffo/Studio 5+1AA (イタリア)

これらの 4 つの建築スタジオが、ワークスペースのデザインの中に幸福と生活の質を求めて、文化的アイデンティティとグローバルゼーションの関係を探求します。

ウォータークーラーは、**Primo Orpilla & Verda Alexander of Studio O+A** が考案したコンセプトを、未来のワークスペースのメタファーとされる「水」を使って見事に表現。そこで働く人々の想像力を養い、士気を高め、心と身体のニーズに応えることを目的とします。このスペースは、仕事の内容によって場所を変えても適応可能です。

常に進化し続けるワークスペースに伴い、働く人々のニーズも激しく変化します。**Ahmadi Studio** は、それに適応する2つの空間を提案します。イランの文化を象徴する場所、プライベートな空間の**ペルシャ庭園**と、社会のダイナミズムと多様性を反映した社交場、**バザール**（市場）。これらにインスパイアされた2つの空間は、独自のルールとスキームによって融合します。展示の焦点は、空間全体に広がる渦の内側で、様々なエレメントで自然を表現し、安心感と帰属意識、ダイナミズムと親密な喜びの感覚を醸し出します。

Ben van Berkel of UNStudio and SCAPE's Jeff Povlo は、現代の人々がさらされている職場のストレスを反映します。「リセット/ RESET」- **Responsive Emotional Transformation** - と名付けられた没入型のモジュール空間は遊び心ありインタラクティブ。科学的に証明された手法でストレスを軽減させます。このコンセプトは、技術的な操作、環境によって認識されるため、人々は困難な感情的状況を可能な限り管理し、ストレスのレベルに応じて空間を変化させることができます。

クロノトープ*システムは、**Alfonso Femia and Gianluca Peluffo of Studio 5+1AA** による空間デザイン。この新しいワークスペースのコンセプトは、時間と空間が融合し、ニーズ、欲求、そこに「住む」人々の過ごし方に応じて変化します。

「浸食」「汚染」「融合」「帰属」は、この新しいワークスペースの重要な概念であり、その関係性は常に進化を遂げます。

(*時間と空間が融合した相互関係)